

発行:2025 年 9 月 16 日

MFJ ロードレース選手権『ST1000』クラス、 ワンメイクタイヤ供給を 2028 年まで継続へ

住友ゴムグループの株式会社ダンロップタイヤ(社長:河瀬二郎)は、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(Motorcycle Federation of Japan、略称:MFJ)が主催する「全日本ロードレース選手権シリーズ」および「地方ロードレース選手権シリーズ」の ST1000 クラス(以下、ST1000)に対し、ワンメイクタイヤ供給を 2028 年まで継続します。



ST1000 ロゴ



全日本ロードレース選手権 ST1000 の様子

ST1000 は市販用リッターバイク^{*1}をベースに、改造範囲が制限された市販状態に近いマシンを使用します。世界耐久選手権「SST」やアジアロードレース選手権「ASB1000」などのレギュレーションにも近く、グローバルな視点でも魅力的なクラスです。ダンロップは ST1000 クラスが発足した 2020 年からワンメイクでタイヤを供給してきました。今後もレースに参戦するライダーを足元から支え、モータースポーツの発展に貢献してまいります。

【ワンメイク供給タイヤおよび詳細】

- 供給期間 : 2026 年～2028 年の 3 シーズン
(2020 年より、9 年間にわたりワンメイクタイヤメーカーとして継続供給となります。)
- 対象レース : 全日本ロードレース選手権シリーズ ST1000、地方ロードレース選手権シリーズ ST1000
- クラス名称 : ST1000 DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER
- 指定タイヤ^{*2}:

	用途	商品名	サイズ
ドライ用タイヤ	フロント	KR149	120/70R17
	リア	SPORTMAX SLICK ^{*3}	200/60R17
ウェット用タイヤ	フロント	KR189	120/70R17
	リア	KR405	190/60R17

※1 一般販売される 1000cc クラスのバイク

※2 適用期間内に新タイヤへ変更する場合あり

※3 2026 年シーズンより変更(現行の「KR133」も 2026 年シーズンまで使用可能)

■ 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会会長 鈴木哲夫 氏 コメント

「2020 年に新設された ST1000 クラスは、競技の公平性と参加者の負担軽減を目的に、ワンメイクタイヤ制度を導入しました。創設以来、住友ゴム工業株式会社様ならびに株式会社ダンロップタイヤ様には、信頼性の高いダンロップブランドのタイヤをご提供いただき、深く感謝申し上げます。6 シーズンにわたり、白熱したレースが展開され、ファンの皆様に感動を届けてきました。2026 年からの 3 シーズンも両社と契約を継続できることを心より嬉しく思います。今後もモーターサイクルスポーツのさらなる発展に向けて、皆様とともに歩んでまいります。」

■ 株式会社ダンロップタイヤ 代表取締役社長 河瀬二郎 コメント

「ダンロップタイヤは 2020 年の ST1000 クラス開始時より、“ローコスト・イコールコンディション”を目的とした市販車 1000cc プロダクションクラスの趣旨に賛同し、オフィシャルサプライヤーとしてタイヤを供給してまいりました。

この度、2026 年から新たに 3 年間のオフィシャルタイヤサプライヤー契約となり、アジアロードレース選手権 (ARRC) ASB1000 で使用しております新型リアタイヤ “SPORTMAX SLICK” を、2026 年から ST1000 にも供給を開始いたします。

新しいリアタイヤの性能を発揮するため、全日本および地方選手権においてタイヤアドバイザーを活用し、ライダーのさらなるタイムの向上とレース結果の向上を目指してまいります。また、これまで同様に開催サーキットでのタイヤ供給に加え、タイヤ性能を引き出す情報提供を通じて、参戦されるライダーの皆様のご活躍に貢献してまいります。

引き続きロードレース業界に貢献できることを大変喜ばしく思います。」

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 [TEL:0120-39-2788](tel:0120-39-2788)